
モンスターハンターエクストラ ～デュアルガンナーの軌跡～

蒼朔夜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モンスターハンターエクストラ 〜デュアルガンナーの軌跡〜

【Nコード】

N8995K

【作者名】

蒼朔夜

【あらすじ】

その世界には多くのモンスターが住んでいた。モンスターは時に脅威となり襲い掛かってくる

その脅威を打ち払うものを人はハンターと呼んだ。

そんな中、本来ならありえない装備を持って戦うものがいた・・・それは異端であり新たな世界の者…

この物語はそんな彼の軌跡を書いたものである

（設定はモンスターハンターポータブル2およびモンスターハンター3をベースにしています）

1話：異世界の双銃士（前書き）

あんまり上手くはかけませんがどうかよろしくお願いします

1話：異世界の双銃士

ここはとある工房…

そこに彼は居た

彼の名は 姫神^{ひめがみ} 零^{れい} 一般の高校生である

「親父ー！刃の部分は出来たぞー！」

訂正、一般ではない高校生である。

「こつちも完成したぞ！」

反応したのは彼の父親で 姫神^{ひめがみ} 明^{あきり}

彼らは親子そろって重度のゲーム好きである。

「えーつとこことここをつなぎ合わせてつと…これで完成だ！」

そんな彼らが完成させたのは一対の双銃…銃剣にもなる一品である。

ちなみに別に彼らが居る場所には脅威など無い。単純に彼らの趣味である

「これで後はこれを着てつと…これで完成！」

「おー！かつこいいじゃねえか！後は写真取らなきゃな！カメラとつて来るぜ！」

零が着込んだのは金属で作られた鎧…高度の高い合金で出来ているため十二分に重い…

「重いけど…十分動けるな。」

銃の弾丸なども持つてはしゃいでいる零…

彼は気がつかなかった…後ろから迫り来る光に

「…え？」

そして彼は光に飲まれこの世界から姿を消した

「おい？零ー、どこ行っただぁ？」

残されたのは彼の父親のみ…

1話：異世界の双銃士（後書き）

このような拙い文章を読んでもいただきまことにありがとうございます

筆者の 蒼朔夜あおなぐさと申します。

これからも誤字脱字等あるかと思いますがよろしくお願いします

ご意見感想等ありましたらうれしいです…

それでは頑張つて書いていきたいと思しますのでどうかよろしくお
願いします

2話：銀世界での初戦（前書き）

今回初戦闘を書きました…

上手く書けてるか不安ですがどうぞご覧になってください

2話：銀世界での初戦

零SIDE

寒い…寒い…ここはどこだ？ほほに当たる冷たい粒と妙に冷えた合金の鎧が俺の意識を覚醒させる。

「…いや、本当にここどこだ？」

目覚めてすぐ目に入っただのは銀世界…そして大きなマンモスのような動物…

「アレは…ポポ？つーことはモンスターハンターの世界？んなわきやねーよな…さすがに」

的確なところを突くがさすがに信じることは出来ない…現実逃避もしたくなる

「おーい！あんたそんなところで何してるんだ！ここはギアノスが出るから危ないぞ！」

俺にそんな風に声をかけて現れたのはハンターシリーズを着込んだ一人の青年

「ん？鎧を着てるということは君もハンターなのか？」

とりあえず返答すべきだろう。ここがどこなのかも知りたいし

「いや…ハンターじゃない…ここがどこなのかも分からないし…こ

「ここが何処か教えてくれないか？」

「ここはポケ村の近くの雪山だ。」

ポケ村って…まんまモンスターハンターだよなあ…

「ふむ…もしかして…君は記憶喪失なのか？」

勘違いされたようだ…だがそうしとくのが一番かな…

「たぶん…名前以外は分からないし…」

「そうか…っと、名乗っていなかったな。僕はクラン、クラン…シユトラウトだ。よろしく。」

「っと、俺は 姫神 零…こっちだとレイ…ヒメガミになるのかな。まあよろしく。」

「ふむ…記憶喪失ならばうちに来ないか？少しは助けてあげれると思うけど。」

「それはありがたいが…いいのか？」

「ああ。こうして出会ったのも何かの運命だろうしね！」

そうして挨拶などをかわすとギアアギアアと特長的な鳴き声が出た…

「ギアノスカ…ゼロは下がっていると良い！ここは何とかしよう！」

「ああ。すまん…」

そういつて素直に下がる…銃は扱えても正直殺すのには抵抗がある…

「よし…はあああ!!」

クランは(たぶん)太刀である骨でギアノスと戦っている…数が4匹もいる成果劣勢であるのは見て伺える

「くっ!」

クランがひるんでる隙にギアノスが襲い掛かるうとしている…俺は助けようとしてくれた人を見殺しにするのか?と言うかたぶん次俺だぞ?

「やるっきゃねえよなあ…」

俺は弾を装填した双銃をギアノスに向ける…何故だろう…何時もより動体視力が上がっている気がする…

だがそれも気にしている暇は無い。ギアノスに狙いを定め弾を撃ち込む。

「ギアア!?!」

空中で弾に当たったギアノスは吹っ飛び絶命する…絶命?そこまで威力は無いはずなんだが…

「レイ!その武器はなんなんだい?」

クランがいったん下がってくる…

「たぶんだが…双銃だ。ライトボウガンのさらに小型版と考えてくれ。」

「そうか…帰ったら君もギルドに登録してもらおう。そして一緒にコンビを組もうじゃないか。」

「それも面白そうだな…だがまっ！この状況を乗り切ったらな！」

そして俺とクランは残った3体のギアノスと戦い始めた…

10分もしないうちに討伐は完了してクランは剥ぎ取っている…なぜか俺は吐き気がしない…殺したと言うのに何故なんだろうか…

「さあ、レイ。帰ろうじゃないか。」

クランが呼んでいる…考察はまた今度にして今はひと時の勝利に酔いしれようかな…

2話：銀世界での初戦（後書き）

上手く書けてるでしょうか…

誤字脱字の報告、意見感想などしどしお待ちしております。

キャラクター紹介

名前：レイ＝ヒメガミ

性別：男

年齢：18歳

ハンタータイプ：（一応）ガンナー

使用武器：双銃・DG-X（模造品）

使用防具：無敵鉄甲ver3thフォーム（模造品）

異世界から来た青年。モンスターハンターシリーズは全作品プレイ済み

使用武器防具に関しては・hack//G・U・の装備を元に作成している

異世界から来た補正か、基本能力が高くなっている

名前：克蘭＝シュトラウト

性別：男

年齢：16歳

ハンタータイプ：剣士

使用武器：骨（太刀）

使用防具：ハンターシリーズ

ポケ村のハンターの一人。最近ハンターになったばかり
お人よしでよく人を助けている

3話：ギルド登録（前書き）

推敲しつつ投稿中…

3話：ギルド登録

「さてと、ここがポケ村だ。ギルドに向かおうじゃないか！」

クランが案内してくれたのはゲームでも良く出ていたあの建物

「おかえりいゝ大丈夫だった？アレ？そっちの人は？」

出迎えてくれたのは一人の美女。服装からしてギルドマスターだろうか？

「ああ、マスター。彼は雪山で拾った記憶喪失の人でギアノスを楽に倒せるほどの腕前を持っていたからつれてきたんだ。」

どうやらマスターで間違いなかったようだ。挨拶しなきゃな

「レイ＝ヒメガミです。どうぞよろしくお願いします。」

「私はこのギルドマスターよ。よろしくねえ。」

「・・・名前はなんと仰るんですか？」

「秘密よ。とりあえずマスターって読んでくれればいいわ。」

「俺もいまだに知らない・・・なんて名前なのかは賭けになってるほどの秘密具合だからな・・・」

クランが耳打ちしてくる・・・そこまで秘密なのか

「とりあえずこれで登録完了ねえ。一応ハンターハウスの空きとアイルは居るから。場所はここね。」

いつの間にか書類を書き終わっていた彼女に地図を手渡された。

どうやらゲームのハンターハウスの奥にあるようだ。

「ありがとうございます。」

礼を言っただけで家へクランとともに向かう…

「って何で付いて来るんだ？」

「何故って、お隣さんじゃないか。どうだい？一緒にご飯でも。その後、明日からの狩の予定を立てよう」

どうやら話し合いも込みらしい。

「ああ、かまわない。一緒に食おうじゃないか。」

そうやって俺と彼は家へと向かった

3話：ギルド登録（後書き）

どうだったでしょう？

ギルドマスターの名前が分からないんで秘密にしましたが…

知っている人が居たら教えてください…

誤字脱字ご意見ご感想お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8995k/>

モンスターハンターエクストラ ～デュアルガンナーの軌跡～

2010年10月13日17時52分発行